

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 5

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	03	01
	細事業名	小学校施設改修事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の老朽化が著しい学校が多く、地域住民からの施設の安全性に対する関心が高まっているため、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校再配置の方向性を見定めつつ、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各小学校を対象に、施設の危険及び破損箇所等の改修工事を行った。(神野小学校外壁補修工事、長岡小学校給水ポンプ装置取替工事、危険遊具撤去工事等)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の改善や児童の安全性確保

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	13	1,879	国庫支出金		
	15	11,127	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		13,006
事業費合計		13,006	合計		13,006

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言いがたい。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言いがたい。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	
	○ 進捗している(できている)	理由			施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言いがたい。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)							
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった		
○ 削減の余地がなかった	理由			施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。			
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。
	事業規模の方向性		
	A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 6

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	03	02
細事業名	小学校施設耐震診断事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 旧耐震基準で設計・建築された小学校施設について、耐震二次診断を実施し、建物強度の把握と補強計画の検討を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全ての小学校施設において、耐震二次診断を完了させる。(平成22年度完了予定)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 下記の施設において、耐震二次診断を実施した。 ・京丹後市立吉原小学校 4棟 ・京丹後市立間人小学校 1棟 ・京丹後市立鳥取小学校 6棟
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 耐震二次診断を実施した建物11棟のうち、耐震性がある建物は4棟、耐震性がない建物は7棟(うち大規模地震の際倒壊の危険性が特に高いもの1棟)と判定された。なお、耐震性がない建物については耐震補強工事の基本設計を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	13	12,612	国庫支出金	建築物耐震改修等事	4,894
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		7,718
事業費合計		12,612	合計		12,612

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	平成21年度においては、耐震二次診断を国の臨時交付金事業と併せて実施したこともあり、市内大部分の小学校で耐震二次診断を完了させることができた。(未診断校:大宮第三・黒部小学校)
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	専門的な知識と技能を要する業務委託内容であり、コスト削減の余地がなかった。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 学校の耐震性への関心は社会的に高まっており、安全・安心な学校施設の確保に向けた耐震二次診断の実施が必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
B 現状維持	理由 市内学校施設における耐震二次診断については、平成22年度中で全てが完了となる。	
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 12

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	06	01
細事業名	小学校施設管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各小学校を対象に、施設修繕、各種設備の保守管理業務及び事務機器リース等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理によって、円滑な学習環境が確保された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	18,519	国庫支出金		
	12	2,294	府支出金		
	13	23,471	起債		
	14	4,429	分担金・負担金		
	16	625	その他		
			一般財源		49,338
事業費合計		49,338	合計		49,338

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> </table>	理由
理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。	
改善	事業規模の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 13

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	03	01
	細事業名	中学校施設改修事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の老朽化が著しい学校が多く、地域住民からの施設の安全性に対する関心が高まっているため、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校再配置の方向性を見定めつつ、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各中学校を対象に、施設の危険及び破損箇所等の改修工事を行った。(網野中学校教室棟三階部避難器具取替工事、峰山中学校給食調理室横通路アスファルト舗装工事、危険遊具撤去工事等)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の改善や生徒の安全性確保

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	13	169	国庫支出金		
	15	2,305	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,474
事業費合計		2,474	合計		2,474

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION						
改善	事業内容の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由			施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。	
	B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了						
事業規模の方向性						
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。	B 現状維持	C 事業縮小	
A 事業拡大	理由			施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。		
B 現状維持						
C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 14

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	03	03
	細事業名	中学校施設耐震化事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 旧耐震基準で設計・建築された中学校施設について、大規模地震発生時に生徒の安全を確保するとともに、地域住民の避難場所としても活用できるように耐震化工事を施す。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全ての旧耐震基準建物について、耐震化工事を完了させる。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 峰山中学校体育館の耐震補強工事を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 中学校施設の耐震化率向上 平成21年4月1日時点 81.6% → 平成22年4月1日時点 84.2%

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	12	80	国庫支出金	安全・安心な学校づく	31,009
	13	1,764	府支出金		
	15	40,225	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		11,060
事業費合計		42,069	合計		42,069

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	大規模地震発生時に倒壊の危険性が高いとされるIs値0.3未満建物について、耐震補強工事を実施した。
	○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	専門的な知識と技能を要する工事内容であり、コスト削減の余地はなかった。
	○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	学校の耐震性への関心は社会的に高まっており、安全・安心な学校施設の確保に向け、計画的な耐震化工事の実施が必要である。
	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	耐震二次診断により耐震性が劣ると判定された学校施設については、一刻も早い耐震性の確保が求められていることから、継続的に事業実施する必要がある。
	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 15

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	06	01
	細事業名	中学校施設管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各中学校を対象に、施設修繕、各種設備の保守管理業務及び事務機器リース等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理によって、円滑な学習環境が確保された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	8,487	国庫支出金		
	12	964	府支出金		
	13	8,247	起債		
	14	3,015	分担金・負担金		
	16	222	その他		
			一般財源		20,935
事業費合計		20,935	合計		20,935

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> </table>	理由
理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。	
改善	事業規模の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 16

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	03	01
	細事業名	幼稚園施設改修事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の老朽化が著しく、地域住民からの施設の安全性に対する関心が高まっているため、安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた計画的な施設整備を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各幼稚園を対象に、施設危険箇所の改修工事を行った。(危険遊具撤去工事)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 幼稚園施設の改善や園児の安全性確保

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	15	93	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		93
事業費合計		93	合計		93

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	
	○ 進捗している(できている)	理由			施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)							
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった		
○ 削減の余地がなかった	理由			施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。			
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
歳出		歳入			
予算科目	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了	
	A 現状維持	理由			施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。		
	B 内容の見直し						
C 統廃合・休止・終了							
事業規模の方向性							
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な幼稚園施設を確保するために事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な幼稚園施設を確保するために事業拡大が必要である。	B 現状維持	C 事業縮小		
A 事業拡大	理由			施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な幼稚園施設を確保するために事業拡大が必要である。			
B 現状維持							
C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 17

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	06	01
細事業名	幼稚園施設管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 幼稚園施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 幼稚園施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各幼稚園を対象に、施設修繕、各種設備の保守管理業務及び事務機器リース等を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 幼稚園施設の維持管理によって、円滑な学習環境が確保された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	323	国庫支出金		
	12	75	府支出金		
	13	736	起債		
	14	231	分担金・負担金		
	16	20	その他		
			一般財源		1,385
事業費合計		1,385	合計		1,385

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> </table>	理由
理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針	2 学校教育施設の整備・充実				
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。	
改善	事業規模の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 6

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	10	01
細事業名	学校情報化推進事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) ICTを活用した魅力ある授業・わかりやすい授業を展開し、児童生徒の学力の向上を目指す。ICTを活用した校務の効率化を図るとともに、教職員のICT活用能力の向上を目指す。また、ホームページ等情報発信による開かれた学校運営を目指す。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) より良い情報化の推進による児童・生徒の学力の向上。教職員のICT活用能力を高めることによる校務の効率化。積極的な情報公開による開かれた学校。
	3 学力の向上と心身の育成 6 地域に開かれた学校づくり

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 小学校31校の児童・中学校9校の生徒・教職員を対象に、教育用ICT環境の維持管理、校務用ICT環境の維持管理、情報発信用ICT環境の維持管理、学校ネットワークセキュリティ対策を行った。小学校11校の情報教室に学習支援統合ソフトを購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 維持管理を適切に行なったことにより、ICT環境につきものの不具合の回避または不具合が発生したときの対応をスムーズに行うことができた。これにより、学校の教育現場や校務への影響を最小限に抑え、健全なICT環境の維持及び利活用ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	7	国庫支出金		
	11	2,042	府支出金		
	12	5	起債		
	13	2,383	分担金・負担金		
	14	34,366	その他		
	18	388			
			一般財源		39,191
事業費合計		39,191	合計		39,191

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">整備したICT環境の維持管理を適切に実施でき、ICT環境利活用の推進ができたため。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	整備したICT環境の維持管理を適切に実施でき、ICT環境利活用の推進ができたため。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	整備したICT環境の維持管理を適切に実施でき、ICT環境利活用の推進ができたため。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
改善	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当事業費で新規にICT機器を整備するため計上していた費用は、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	当事業費で新規にICT機器を整備するため計上していた費用は、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	当事業費で新規にICT機器を整備するため計上していた費用は、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 8

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	02	01
細事業名	小学校管理運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内30校の小学校の児童と教職員に学校の管理運営に係る必要経費を支出し、よりよい教育環境を提供する。 市内30校の小学校の児童と教職員に学校の管理運営に係る必要経費を支出し、よりよい教育環境を提供する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の小学校31校の管理運営に要する経常経費の支出を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 安心して学べる学習環境を整えることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	730	国庫支出金		
	7	5,729	府支出金		
	11	125,237	起債		
	12	6,902	分担金・負担金		
	13	31,507	その他		
	14	491			
	18	6,269			
	19	981	一般財源		177,846
事業費合計		177,846	合計		177,846

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	安心して学べる環境をつくり、学校運営を円滑に維持している。また、限られた予算を有効活用している。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	学校を運営していくための必要最小限な経費であり、削減の余地は無い。	
○ 削減の余地がなかった			
○ ▲ 少し削減の余地があった			
○ × 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	学校を運営していくために必要な経費であり、今後も学習環境を整えるため不可欠である。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性	理由	今後も学習環境を整えるため、物価を考慮した予算配当が必要である。	
A 事業拡大			
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 14

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	02	01
	細事業名	中学校管理運営事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内9校の中学校の生徒と教職員に学校の管理運営に係る必要経費を支出し、よりよい教育環境を提供する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
	平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の小学校9校の管理運営に要する経常経費の支出を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 安心して学べる学習環境を整えることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	314	国庫支出金		
	7	2,459	府支出金		
	11	50,611	起債		
	12	3,345	分担金・負担金		
	13	6,179	その他		
	14	156			
	18	2,470			
	19	1,646	一般財源		67,180
事業費合計		67,180	合計		67,180

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 安心して学べる環境をつくり、学校運営を円滑に維持している。また、限られた予算を有効活用している。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
改善	○ 削減の余地がなかった	理由 学校を運営していくための必要最小限な経費であり、削減の余地はない。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		